

保護者等向け 2022年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表（ルフレいなぎ児童発達支援事業所）

公表：令和5年2月1日

事業所名 ルフレいなぎ 児童発達支援事業所

保護者等数（児童数）

50

回収数 34

割合 68 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	74%	15%	3%	9%	相談室の部屋が少し狭いかなと思います。グループ活動の子どもたち全員が自由に遊ぶには少し狭い気もします。壁を使うなどしてうまく使えています。	法令に基づいたスペースです。お子さんが安心して主体的に遊べるよう、仕切りを活用して構造化する、2つのグループに分けて活動するなど工夫していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	88%	6%	0%	6%	子どもの人数に対して職員の数少ない気がします。活動の内容によっては足りないかな？と思うところもあります。	法令に基づいた人員配置ですが、活動によっては人員の加配を検討してまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	97%	0%	0%	3%		玄関外にスロープ、室内は段差の無い作りになっています。2月に駐車場のアスファルト舗装を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	0%	いつも気持ちよく過ごせる空間になっています。限られた空間を上手に活用し様々な活動を行っていることに感動しました。子どもたちが帰った後に床やおもちゃ等全部をアルコール消毒しているところを拝見しました。いつもありがとうございます。	お子さんの帰園後には玩具・机・椅子などの消毒を行っています。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	97%	0%	0%	3%	よく観察されていると感じます。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	91%	0%	0%	9%		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	0%	子どものことをとても良く見てくださっていると日々感じます。	
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	91%	0%	0%	9%		活動を繰り返し行うことで、理解の深まりや表出の向上につながることもあります。お子さんの発達段階によって繰り返し経験していきると良い動作や内容は同じ活動を行っています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	47%	3%	12%	38%	いろんな年齢、グループでの交流などあればいいかなと思います。	2歳児親子グループは、大人との関わりをメインとしているため保育園や幼稚園のお子さんとの関わりを持つ機会は設けていません。3～5歳児グループは、保育園や幼稚園に通っている方がほとんどのため、通っている保育園や幼稚園との連携を重視しています。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	97%	0%	3%	0%		初回契約時に説明させていただいていますが、質問や気になったことなどがありましたら遠慮なくお問い合わせください。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	94%	0%	0%	6%		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	68%	6%	9%	18%	家庭での悩みについて「こうしてみは」とアドバイスをもらえます。子どもとの関わり方についての指導はとても助かっています。保護者勉強会がオンラインであり、とても勉強になります。	ペアレントトレーニングは実施していませんが、勉強会（年2回）、保護者交流会（年1回）を実施し、お子さんの育ちについて考える機会を設けています。今年度は2歳児親子グループにおいて決まったテーマで関わり方について話す機会を設けました。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	97%	3%	0%	0%	いつもよく話を聞いていただけるので安心していきます。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94%	6%	0%	0%		年に2回個別支援計画面談を行っていますが、それ以外でもご希望があればご連絡ください。

保護者等向け 2022年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表（ルフレいなぎ児童発達支援事業所）

公表：令和5年2月1日

事業所名 ルフレいなぎ 児童発達支援事業所

保護者等数（児童数） 50

回収数 34

割合 68 %

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	74%	12%	0%	15%	関わりが無いです。	保護者交流会を1回実施いたしました。また、家族でご参加いただく土曜イベントを2回実施し、交流の機会を設けました。父母の会の活動はありません。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	97%	3%	0%	0%		随時希望面談を設けておりますので、何かありましたらお声掛けください。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	97%	3%	0%	0%		毎月『ルフレ便り』にてグループ療育の様子や予定をお伝えしています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	91%	3%	0%	6%	個別日程の振替日がたまに連絡忘れることがあります。翌月の日程を個別療育終了時に伝えるようにするなどの対策をお願いいたします。存在を知らないです。「ルフレだより」を毎月楽しみにしています。子どもたちの生き生きとした様子が伝わってきます。	個別療育日程の伝え忘れがないよう、伝達方法を担当者間で確認してまいります。自己評価結果を公表する際には保護者の方にホームページのURLをお送りします。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	91%	0%	0%	9%	別の方の支援計画が混じっていたので、気を付けていただきたいです。	法人の個人情報保護規定を順守し、個人情報はキャビネットに保存施錠しています。個人情報に関する取り扱いを職員間で確認します。配布時に配布間違えがないかを再度チェックするようにします。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	74%	6%	0%	21%	マニュアルはまだ見たことがありません。	災害時マニュアルを年に1回配布するようにします。今年度は『新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画』を策定しました。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	71%	6%	0%	24%		毎月避難訓練を実施しています。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	94%	3%	0%	3%	毎日とても楽しみにしています。毎回通所をとても楽しみにしています。毎日、自宅のスケジュール表で「明日はルフレだね」と楽しみにしており、「ルフレたのしかった～」と帰ってきます。	これからもお子さんの発達段階や興味に合わせた活動を提供し、通所を楽しみにしていただけるように工夫してまいります。
	23 事業所の支援に満足しているか	94%	0%	0%	6%	きめ細やかな支援をしていただいて感謝しています。特に個別療育でとても伸びたと感じているのでもっと多い頻度で受けられると大変有難いです。子どもの特性や興味に合わせていろいろ支援していただき感謝の気持ちでいっぱいです。	お子さんのことなど今後も気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。今後もより良い支援が提供できるよう努力してまいります。

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がい特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。